資料 No. 12-2021-918 (April, 2021)

日本統治期台湾最大の日刊紙を精緻な画像でデジタル化
索引により約 15 万頁、250 万件に上る記事が容易に検索可能

オンライン版

臺灣日日新報

TBMC

（本体編＋索引編）
明治 29（1896）年 6 月～昭和 19（1944）年 3 月
全 15,800 号以上　　台北市：台湾日日新報社発行

『臺灣日日新報』は日本統治期台湾発行の日本語新聞で、明治 31（1898）年 5 月 6 日に『台湾新報』（明治 29 年創刊）と『台湾日報』（明治 30 年創刊）を併合する形で創刊、2 年後には経営難により総督府の機関誌となりました。新聞社保護のために総督府が「一市一報」政策を布いていたため、台湾での日本語紙には本紙のほか、台中の「台湾新聞」、台南の「台南新報」、花蓮港「東台湾新報」、高雄の「高雄新報」がありましたが、なかでも台北の「台湾日日新報」は最大の規模をほこり、大正 13（1924）年には発行量は 1 万 8 千部以上にのぼりました。また、付録として「総督府府報」「台北州報」「台北市報」も発行したために「御用新聞」とも称され、昭和 19（1944）年に廃刊するまでの間、台湾の政治・社会・言論・文学の全域にわたり強い影響力を持ち続けました。

オンライン版『臺灣日日新報』は、ゆまに書房刊行のマイクロフィルム版の全ページをデータベース化して提供するものです。「本体編」には全ページのデジタル画像および年代巻号目次が収録されています。

「索引編」には記事見出し・著者名・本文中のキーワード等の索引データを収録。これにより、日本植民地支配や台湾研究の基本資料を容易に閲覧・検索することが可能となりました。　G.C.16873

本体編＋索引編

	価格（税抜）
購入型　コンテンツ料 【同時アクセス数：無制限】	お問い合わせください
購入型　コンテンツ料 【同時アクセス数：1】	お問い合わせください
年間購読型 【同時アクセス数：無制限】	お問い合わせください

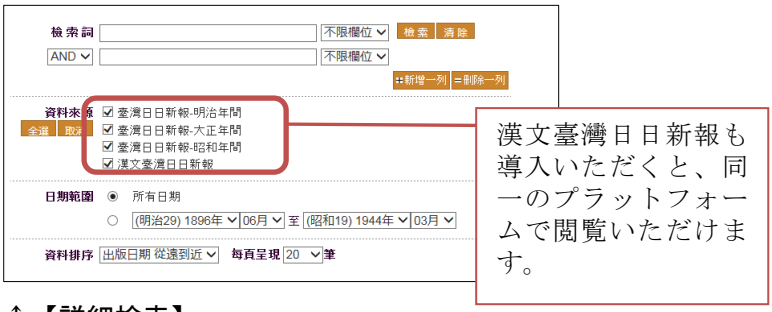
索引編：索引編のみの分売も承ります
索引編：記事見出し・著者名・キーワード等による索引データ
マイクロ版「台湾日日新報」の索引としてもご活用いただけます

	価格（税抜）
明治/大正　購入型　コンテンツ料 【同時アクセス数：無制限】	お問い合わせください
昭和　購入型　コンテンツ料 【同時アクセス数：無制限】	お問い合わせください

●掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。

漢珍數位圖書（Transmission Books & Microinfo Co., Ltd.）／日本総代理店:丸善雄松堂

Ⓜ MARUZEN-YUSHODO　丸善雄松堂株式会社[学術情報ソリューション事業部　企画開発統括部]
〒105-0022　東京都港区海岸 1-9-18　国際浜松町ビル
TEL 03-6367-6114　FAX 03-6367-6160　e-mail: e-support@maruzen.co.jp



漢文臺灣日日新報も導入いただくと、同一のプラットフォームで閲覧いただけます。

↑【詳細検索】
検索ワードの掛け合わせが可能です。
見出し・著者・本文中のキーワード・年月日による検索が可能です。
AND/OR/NOT の検索条件も指定可能となっています。

↑【検索結果】
検索結果記事（見出し・年月日・ページ）の一覧が表示されます。検索結果の印刷・ダウンロードも可能です。

←【全文画像表示】
PDF にて表示。拡大・縮小も自在です。
保存・印刷・E-mail 送信も可能です。

※全文画像には著作権保護の為版元 Transmission 社の透かしロゴが入ります。

※検索結果の部分に赤い画鋲のアイコンが入って表示頁のどこが検索結果なのかわかるようになっています。

「臺灣日日新報」および関連紙の変遷

*本データベース収録　**本データベース非収録　***関連資料（次頁）

明治 29（1896）年 6 月	「臺灣新報*」創刊
明治 30（1897）年 7 月	「臺灣日報**」創刊
明治 31（1898）年 5 月	上記 2 紙を併合し「臺灣日日新報*」創刊（日本語のみ）。
明治 34（1901）年 11 月	「臺灣日日新報」に中国語紙面が追加される。
明治 38（1905）年 7 月	中国語紙面が拡充され、別刷り「漢文　台湾日日新報***」として刊行される（～明治 44 年）。
昭和 12（1937）年 4 月	中国語紙面が廃止される。
昭和 19（1944）年 3 月	「臺灣日日新報」終刊。他 5 紙と合併し「臺灣新報**」に吸収される。

オンライン版の特徴

◆『台湾日日新報』を精緻な画像で再現

『台湾日日新報』は重要な資料でありながら原紙の閲覧は容易ではありません。このためマイクロ版、復刻版が度々刊行され、その中でも最も完成度が高いとされているゆまに書房刊行のマイクロフィルム版をデジタル化したのが、本データベースです。紙面を一面毎に忠実に再現しています。

◆記事一件一件へのアクセスを容易にする「索引」機能

全号約 15 万ページに含まれる記事およそ 250 万件に索引を付し、検索を容易にしています。当時の新聞記事の見出しは簡略なものが多いため、見出しに加えて、本文に含まれる人名・地名・事件名などのキーワード約 1,200 万件を抽出して索引化しています。より的確な検索機能を得るために、日中両言語の能力と文学・歴史の専門知識を擁するスタッフが編集にあたり、2 年以上の歳月をかけて作成されました。

資料 No. 12-2021-918 (April, 2021)

オンライン版 臺灣日日新報（本体編＋索引編）

全 15,800 号以上　　台北市　台湾日日新報社　発行

◆総ページ数：約 150,000 ページ
◆収録年代：明治 29（1896）年 6 月～昭和 19（1944）年 3 月
◆収録記事：約 250 万件
◆言語：日本語（一部中国語）
◆索引件数：約 1,200 万件

データベース仕様

すべての機能をご利用いただく為には本体編・索引編の両方が必要です。
索引編のみの分売も承ります（本体編のみの分売はございません）。

	本体編 + 索引編	索引編のみ
収録形式	◎全号の紙面画像の PDF データ（ゆまに書房マイクロフィルム版 341 リールをデジタル化）	◎記事見出し、著者名、キーワード等による索引データ　約 1,200 万件 ◎「明治/大正編」「昭和編」の分売可
機能	【閲覧機能】 ◎年月日・頁を指定した閲覧 ◎画像の拡大・縮小機能及び保存・印刷	【検索機能】 ◎記事見出し、著者名、本文中のキーワード、年月日、日刊/夕刊の区別による検索 ◎検索演算子(AND/OR/NOT) を利用した条件設定 ◎検索履歴、検索結果の保存・印刷
提供メディア	オンライン ◎購入型/年間購読型より選択	オンライン ◎購入型のみ
動作環境	対応 OS：Windows10、Mac OS の最新版をおすすめします。 ブラウザ：IE/Chrome 動作確認済み Acrobat Reader がインストール済みであること	

※原本の保存状態により一部判読困難な箇所がございます。あらかじめご了承ください。
※仕様、操作画面は諸般の事情により変更になる場合がございます。

【関連資料】　オンライン版「臺灣日日新報」と同一のプラットフォームで閲覧いただけます

日本統治時代台湾の時事ニュース、文芸活動、社会現象の記録

オンライン版　漢文　臺灣日日新報

明治 38（1905）年 7 月～明治 44（1911）年 11 月

顧問指導：呉密察教授　原本所蔵機関：国立台湾大学図書館

◆『臺灣日日新報』の別刷り『漢文台湾日日新報』の紙面を収録
◆3,000 万字にのぼるフルテキストデータによって全文検索が可能
※オンライン版「臺灣日日新報」との重複はございません。

無料トライアル随時受付中！　サンプルデータをご覧いただけます。
最終頁をご参照ください。

資料 No. 12-2021-918 (April, 2021)

【関連資料】　2020 年リリース

TBMC

臺灣日日新報　音声文化データベース

日本統治期の台湾の音楽生活は、西洋音楽や日本音楽、そしてレコードやラジオなどの近代的な音響技術の導入によって劇的な変化を遂げました。しかし、これまで日本統治期の台湾音楽史の研究は、口述資料に頼る傾向が強く、文字資料が十分に活用されていたとは言えません。音や聴覚の視点から歴史を探求することは近年国際的に重要な潮流となっています。本データベースは、日本統治期台湾の文化に「音」からせまるため、国立台湾大学音楽学研究所、国立台湾大学図書館、漢珍數位圖書による共同プロジェクトによりリリースされました。

共同プロジェクトに『臺灣日日新報』が選定されたのは、『臺灣日日新報』が日本統治期の台湾において最長の発行期間と最大の発行量を誇った新聞であり、また日本統治期台湾の日常音楽生活と音声文化に関わる資料を豊富に含むことによります。本データベースは、『臺灣日日新報』に収録されている音楽関連の記事を収録し、その総数は約 357,200 件にのぼります。パフォーミング・アーツ（ダンス、演劇、芝居など）、マスメディア（レコード、ラジオ、映画など）、伝統行事（儀礼、寺社祭礼、パレードなど）などが含まれ、非常に詳細なキーワード検索（キーワードの総数 2,650 万以上）を備えています。

※　本データベースには、音声そのものは収録されていません。

価格などの詳細は、お問い合わせください。

無料トライアル 受付中

- トライアル期間は個人・機関とも、１ヶ月間です。
- 下記の項目を E-mail: e-support@maruzen.co.jp あるいは FAX: 03-6367-6188 でご連絡ください。

  お名前（ふりがな/アルファベット表記もご記載ください）、ご所属、ご連絡先(E-mail)、IP アドレス(図書館からお申し込みの場合)、希望開始日
- お申し込みから設定まで 4－5 日かかる場合がございます。
- トライアルのお申し込みは、原則として大学・研究機関の専任教員・職員に限定させていただきます。学生・大学院生の方は、図書館員・担当教員を通じてご依頼ください。
- 個人情報のお取り扱いについて：
  ご記入いただいた個人情報は、お申し込みトライアルの設定、ならびに弊社よりの商品・催事のご案内に際してのみ使用いたします。弊社の個人情報保護方針につきましては、弊社ウェブサイトをご覧ください。
  http://yushodo.maruzen.co.jp/privacy.html

今後の案内が不要の方は、トライアル申し込み時に、「商品の案内は不要」「催事の案内は不要」の旨をお知らせください。

資料 No. 12-2021-918 (April, 2021)

MARUZEN-YUSHODO